

第3分科会 第4会場

「安心して住み続けられる
まちづくりのとりくみ」

ホテルグランヴィア岡山 3F サファイア

演題番号 3-4-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
広島	広島中央保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマシタ ノリエ 山下 則江	理事	第3分科会

発表テーマ
田方支部防災カフェ班の活動～私たちにも出来る身近な防災を提案!!～

内容（発言要旨）

『防災士になりませんか?』と町内会長に勧められ、防災士の資格を取り、防災カフェ班が誕生。そんな時、令和3年8月田方支部地域の団地で土砂崩れが発生し、私たちは避難所訪問、土砂かきボランティア、ボランティアセンター運営に参加しました。この貴重な体験を通してより深く地域防災の大切さを痛感することとなりました。核家族が急増し高齢者の一人暮らしも増えてくる中、その関わり方も難しくなっています。日ごろの付き合いは挨拶程度くらいの縁で「避難をしましょう」と呼びかけても一緒に行動するのは難しいと感じ、日ごろの近所付き合いやサロンなどの交流がいかにか「緊急時に大事であるか」を感じました。いろいろな体験から、「防災」に関して敷居をぐんと低くし、身近で役立つ内容ならば、ソフトで優しい地域交流ができるのではないかと、班会で皆さんと一緒に楽しく分かり易い防災が学べるのではないかという思いから、「日常」「非日常」を一緒に考えられる班会を目指すことになりました。地域のお寺や小学校での「防災キャンプ」・「地域防災活動」についての授業にも参加し、楽しい交流をさせていただきました。

所属している組織の概要	
活動地域は、広島県広島市。組合員数は約29,350人。担当支部は3支部。	
TEL 082-532-1264	メール s-okada@hch.coop

演題番号 3-4-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
長野	健康クラブ泉の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タカハシ アツコ 高橋 敦子	南信勤労者医療協会 職員	第3分科会

発表テーマ
災害弱者といわれないうために防災知識を深めよう

内容（発言要旨）

健康クラブ泉の会では、防災士の資格をもった職員が健康班会で様々な防災講座を開催し、ライフラインが機能しなくなったときの避難生活で、役に立つ知識をたくさん紹介しています。災害時の備えの知識を豊富にもっていること【知っている】ということは、被災地で、避難生活で【生き抜く力】を持つことにつながります。

アルファ米やサバイバルパンなど防災食の試食会や、救急法のひとつとして三角巾での足首捻挫対策を実施しましたが、特に参加者からの関心が高かったのは災害時のトイレ対策です。

下水道の破損によってトイレを流せない生活を強いられたとき、上下水道の復旧までの間をどう乗り切るのか?能登半島地震の被災地で活躍している簡易トイレ【ラップオン】の使用を実演して、いざというときの備えを皆で考えてもらいました。

これからも、折に触れて、防災講座を開催し、【生き抜く力】を持ってもらいたいと意気込んでいます。

所属している組織の概要	
活動地域は、長野県下諏訪町と岡谷市を中心に諏訪6市町村。活動地域の人口は約18万8000人。所属する共同組織の人数は約6600人。	
TEL 0266-27-6856	メール tikatu-02@skhp.or.jp

演題番号 3-4-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 本部組合員活動部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タグチ ミナコ 田口 美奈子	組合員活動部 コープ おおさか病院地区担当	第3分科会

発表テーマ
手軽で簡単おいしい防災食について

内容（発言要旨）

近年、気候変動に伴う異常気象は激甚化・頻発化し、水害・土砂災害、又、地震災害も続く中、いつ誰が災害に遭うかわからない昨今、多くの組合員も不安に思われています。そうした中、運営委員さんからの提案で簡単にできる非常時レシピを考え取り組みました。

災害時の非常食はパン、カップ麺など簡素なものになりがちです。避難できても栄養バランスが偏ると免疫力・体力ともに低下することや、いざという時のために日頃から備蓄を心がけると同時に、災害時にも心と体に健康的なごはんが調理できるように「パッキング」の方法を組合員さんと共に調理実習を行いました。

実際行ってみて、当初、「湯煎で上手く調理ができるのか」の疑問は解消されていました。皆さん簡単でおいしくできることにも感心されていましたし、何より、災害時に備えがちな、レトルト食品だけでないメニューということも、発想の転換となったとの感想もありました。今回の取り組みでいつ起こるかわからない災害に備えるという意識をより持ってもらえるきっかけとなりました。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市城東区の一部。活動地域の人口は約10,000人。所属する共同組織の人数は約2,000人。	
TEL 070-5461-1370	メール m-taguchi@health-coop.jp

演題番号 3-4-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サド レイコ 佐渡 麗子	奥能登ブロック 事務局	第3分科会

発表テーマ
1.1能登半島地震被災地の友の会と民医連の取り組み

内容（発言要旨）

1月1日16:10に発生した能登半島地震では、最大震度7を観測。家屋の倒壊、道路の寸断、津波そして火災と奥能登2市2町に甚大な被害をもたらした。

役員や教室、班会参加者への安否確認を行いました。ライフラインの復旧が見込めないこと、地元を離れての避難、電話回線の寸断もあり、会員の安否確認、所在を確認することが困難な状況だった。奥能登だけでは、対応しきれず2月末全日本民医連の支援のもと、会員の安否確認、要望把握の地域訪問を開始。初期の訪問では1、2割対面できる程度。4月末まで全国支援を受けながら対話訪問と片づけ支援を行った。

全国からの支援で復旧が遅れている現状を知らされ、高齢化率50%地域での災害、また、珠洲市では昨年5月5日にも最大震度6強の地震被害があり、奥能登での生活再建が悩みである。

地域を離れての避難は周囲から孤立してしまうので、組織のつながりを活かし健康友の会としても石川県全域で被災者支援を会員の皆さんに呼びかけています。災害時の教訓から、いろいろなつながりを広げられる活動を進めていきたいと思えます。

所属している組織の概要	
活動地域は、石川県奥能登2市（輪島市、珠洲市）2町（能登町、穴水町）。活動地域の人口は約59,000人28,000世帯。所属する共同組織の人数は約6,000人4支部が活動。輪島市においては約23%が会員	
TEL 0768-22-3055	メール yukinko203-okunoto@pure.ocn.ne.jp

演題番号 3-4-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	公益社団法人石川勤労者医療協会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマウチ カツト 山内 勝人	健康推進部 職員	第3分科会

発表テーマ
被災した会員を励まし安心して住み続けられるまちをともにつくる

内容（発言要旨）

目的：石川県輪島市南志見地区は発災直後から道路が寸断され孤立化し多くの住民は小学校や集会所などに避難。高齢者が多く帰省家族もあり食料も不足。厳しい冬を迎え被災者は考える余裕もなく9日目にして自衛隊ヘリ等で広域集団避難するという前例のない事態となった。この地区は11町会370世帯、840人が暮らす地域で友の会会員は77世帯210人。金沢市南部地域の施設に集団避難した方々への主な支援内容は、炊き出し、ミニ演奏会、健康チェック、対話などを行う。5月頃より金沢の避難所からそのまま賃貸住宅や高齢者施設または仮設住宅などへ住民は分かれていった。しかし、仮設、賃貸いずれを選択しても保障は2年。水光熱費や食料などが自己負担でさらにその後の住まいや生活再建は自己責任となっている。5月から9月にかけて「南志見」地区を活動範囲とする友の会組織と協力して、会員訪問や住民に寄り添った活動を行い、地区のみなさんが住み慣れた地域で暮らせるよう、民医連事業所と友の会の役割と課題を検討していきたい。

所属している組織の概要	
金沢市南部地域 支部数6 班数43 15の小学校区 会員数6600余り 対応する民医連事業所 健生クリニック 金沢市平和町3-5-2	
TEL 070-3286-7673	メール yamauti@ishikawa-kinikyoo.jp

演題番号 3-4-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会 金沢北ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カクタ カズヨシ 角田 和嘉	健康で楽しくくらそう内灘の会	第3分科会

発表テーマ
「がんばろう内灘 KSNJ」を結成しての取り組み

内容（発言要旨）

（仮）1月1日、能登地方を中心に大きな地震に見舞われ、大変な被害が出ました。液状化現象が顕著に起こったのがわが支部のある内灘町です。そんな被災者の皆さんの力になれるようにとの思いで、1月18日、4団体の参加で「1・1能登半島地震“がんばろう内灘 KSNJ”ネット」を発足しその日の午後から地域訪問を開始。翌日からは石川民医連からお借りした腕章と名札をつけ地域訪問活動を実施。訪問先では簡単な地盤の応急処置や支援物資のお届け、要望について1時間以上お話しを伺う場面もありました。発足から6日目の1/23、訪問にて聞き取った住民からの要望をまとめて内灘町役場へ提出。被災者の要望は発災当初と異なり、被害の認定に関することや応急仮設住宅の設置場所に関する要望など様々。新たに出される要望をその都度まとめ、粘り強く、自治体に要望書を提出して改善に結び付けたいと思います。

所属している組織の概要	
金沢北ブロックは金沢市北部地域と、内灘町、津幡町、かほく市を活動地域に会員数13161人、10支部が組織され、当支部は内灘町で活動する。会員数794人、町の人口は26051人。	
TEL 076-251-6112	メール kitatomonokai@taupe.plala.on.jp

演題番号 3-4-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
石川	石川県健康友の会連合会 能登中部ブロック	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イナモト 稲元 イクヨ	能登中部ブロック事務局	第3分科会

発表テーマ
1.1能登半島地震被災地での取り組みと課題

内容（発言要旨）

2024年1月1日発生した能登半島地震では、活動している全地域で被害が発生した。発災直後から移送サービス利用者の安否確認を電話で行い、その後も会員宅訪問を継続し、訪問数は700件を超え対話数は500件近くとなった。

訪問対話では被害の大きい奥能登にマスコミが集中する中、中能登は「取り残されているようだ」との思いが多く聞かれた。被災した世話役・職員と共に限られた人員で要望を伺う中、物資を届け被災地域でのサロン、復興支援コンサート、支援物資の「お渡し会」など細々と取り組んできた。友の会の呼びかけで災害対策連絡会を立上げ要望を行政に届けた。

「繰り返す余震で倒壊した家屋が隣家に被害を及ぼすのでは」との不安。液状化被害への補償が皆無である事への怒り、避難者の修繕費用の経済的負担への悩みなど課題解決にむけては多くの困難が予測される。過疎地域の復興は長期戦となるが、行政の切り捨てを許さず「住民主体」の視点を貫けるよう、今後の活動を模索していきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は、石川県能登地域の2市（羽咋 七尾）3町（志賀 宝達志水 中能登）。活動地域の人口は約1,165千人、49千世帯。所属する共同組織の人数は約5,330人（5%）、2,760世帯（6%）。7支部によって構成されている。	
TEL 090-6810-7300	メール inaiku194@jmail.com